

【声1】

わが子が吉川小学校への入学を強く希望したため、入学に至りました。

送迎の際に目にする朝の光景に、清々しさを感じています。登校する子供達の「おはようございます。」という明るいあいさつの声が、地域の方々や先生方にしっかりと受け止められて一日がスタートしていく様子を垣間見ると、あたたかい気持ちになります。

小規模特認校の制度を利用させていただいて、吉川小学校に入学できたことに感謝しています。

【声2】

これから、小学校という広い世界へ新たに踏み出そうとするわが子が、周りの先生方や大人たちの目の行き届いた環境の中で、ゆっくりと穏やかに少しずつ成長していってくれたらいいな、人と人との関わりを大切にしながら多くのことを学んでくれたらいいな、豊かな自然に囲まれてのびのびと過ごしてくれたらいいななどの思いから、小規模特認校への入学を検討していました。実際にわが子を連れて吉川小学校の見学を訪れ、とてもあたたかい雰囲気を感じました。わが子も「この学校に行きたい。」と希望し、入学を決めました。

【声3】

当初は学区の小学校へ通わせる予定でした。しかし、保育園から持ち帰った小規模特認校を紹介するおたよりを一緒に見ていた子供が、「ここに行きたい！！」と言うのです。以前から気になっていた吉川小学校。早速見学に行き、お話を伺いました。自然と触れ合えるだけでなく、様々な学年の子供や先生方、地域の方とのコミュニケーションの中で育つことのできる少人数ならではの環境は、子供にとって、かけがえのない経験になると思います。

【声4】

毎日の送迎、一から築く人間関係などの不安もありましたが、先生方や子供達、保護者の皆さんに温かく迎え入れていただいて、毎日楽しく通えています。市役所のホームページで偶然知り、少人数で目の届きやすい環境であること、ほかの学年や地域との関わりを通じてコミュニケーションを学ぶことから、自信をもった子に育ってくれればと思い利用しました。

見学に行った際、2階の広い廊下と、顔も見えないほど離れた所から「こんにちは！」と言ってくれた子供達が、とても印象的でした。我が子が「どうしてもここに通いたい！」と言ったことも決め手です。

制度自体を知らなかったので、「もっと早く知りたかったね。」と親子で話しています。

【声5】

少人数なので、アットホームな所が良いところです。しかし行事など、親が参加しなければならないことが少し多く感じるのは、デメリットです

【声6】

県外からの転勤でこちらに来る際に、偶然ホームページで吉川小学校を知りました。

少人数の落ち着いた雰囲気と、ザリガニ釣りや川探検、田植えや稲刈りなど、自然をステージにした独

自の学習に魅力を感じました。参観日でザリガ二釣りに向けての話し合いの様子を見ましたが、子供たちが活発に意見を出し合って進めています。以前大人数の小学校へ通っていましたが、吉川小学校ではみんながしっかり考え、のびのびと意見を出しているように感じました。(人数に関係なくクラスの雰囲気によると思いますが…)また、吉川小学校の体験学習では、地域の方々に教えていただくことも多く、学区外から通っているわが子にもよく声をかけてくださいます。

休み時間は、学年に関係なく遊んでいるようです。高学年のお兄さんお姉さんから学び、下の学年に伝えていくということも自然に行われているようで、すてきなと思います。わが子が転校してきてまだ慣れていないころも、高学年さんが本当によく声をかけてくれました。吉川小学校に来て一番よかったのは、そういった「人のつながり」かもしれません。

通学は、私たちの場合は車で20分ほどです。バスの便が少なく送迎するしかないので、下の妹も毎日同行させている面はたいへんです。それでも子供時代にこうした貴重な経験ができるのは、とてもありがたいと思っています。

【声7】

子供が入学する1年前に、市内に「小規模特認校」があることを知り、「これだ」と思いました。学びの初期段階にあたる幼児期から児童期(特に低学年)にかけては、大人たちに見守られる環境を整えることが子供の成長にはよりよいのではないかと以前から考えていました。どの小学校でも教職員、保護者、地域の方々に見守られて子供は育つのですが、小規模であれば子供と周りの大人とのコミュニケーションの量は圧倒的に多いだろうし、何より「話好き」で何でも「聞きたがり」のうちの子供にはそのような環境の方がよいらろうと考えていました。

しかし、家から職場までの通勤を考えると、山間部への引っ越しまでは考えにくく、あきらめかけていたところ、「小規模特認校」と呼ばれ他校区からの受け入れを認めるとい学校が、なんと隣の学区に存在することが分かったのです。

早速、吉川小学校を訪ね、校長先生から直接吉川ならではの小規模特認校の特色と教育内容を教えていただきました。また実際に各学年の授業風景や、校内のスペースの使い方などを拝見しました。少人数教育であることの魅力はもちろんのこと、校舎の造りもまた魅力的でした。天井が高く、教室のスペース以上の「廊下」のスペースの広さが開放感を漂わせています。その一角に書棚が置かれており、整然と並ぶ事典や図鑑の種類も豊富で、児童が「学びたい」と思った瞬間に手に取れるような工夫もなされています。そのほか、吉川の地域の方との交流も、小規模校を盛り立てる大きな要素の一つとなっていると感じています。

このように、吉川には広い意味での子供を育てるためのよい環境が整っていると思います。

【声8】

「小規模特認校制度」を知り、親子で何度も見学に伺いました。開放感のある校舎や、学校という緊張感を和ませているような置のスペースのある校舎に、親子共に魅力を感じました。落ち着いた児童の様子や授業風景を見学してから、わが子が「ここへ通いたい!」と希望したことが大きな決め手となりました。少人数ならではの落ち着いた環境と先生方や、周りの大人や友達の中で一日一日を積み重ねて、ゆっくりと成長してほしいと思っています。

【声9】

学区外通学のため、知っている友達がない状態で、わが子は吉川小学校に入学しました。

入学したてのころのことです。朝の登校で正門に着いたわが子に、たまたま玄関にいた上級生が気付いてくれました。その子は、わが子の名前を呼び、「おはよう。おいで〜！」と笑顔でそばに寄って来てくれました。そして、校舎まで一緒に入ってくれたのです。私たち親子は、上級生の優しさに助けられました。そして、温かい気持ちになりました。

吉川小学校では、縦の社会も横の社会も深いかわりの中で経験を積み重ね、一人一人の役割、責任の大きさを感じながら成長していきます。人を敬い、地域の方に感謝し、仲間や自分を大切にできる環境なのです。いずれわが子が上級生になったとき、上級生がわが子にしてくれたように下級生に「思いやり」を返していくことと思います。

我が家が吉川小学校を選んだ理由。それは、人と人とを繋ぐ「心」を育む環境だからです。